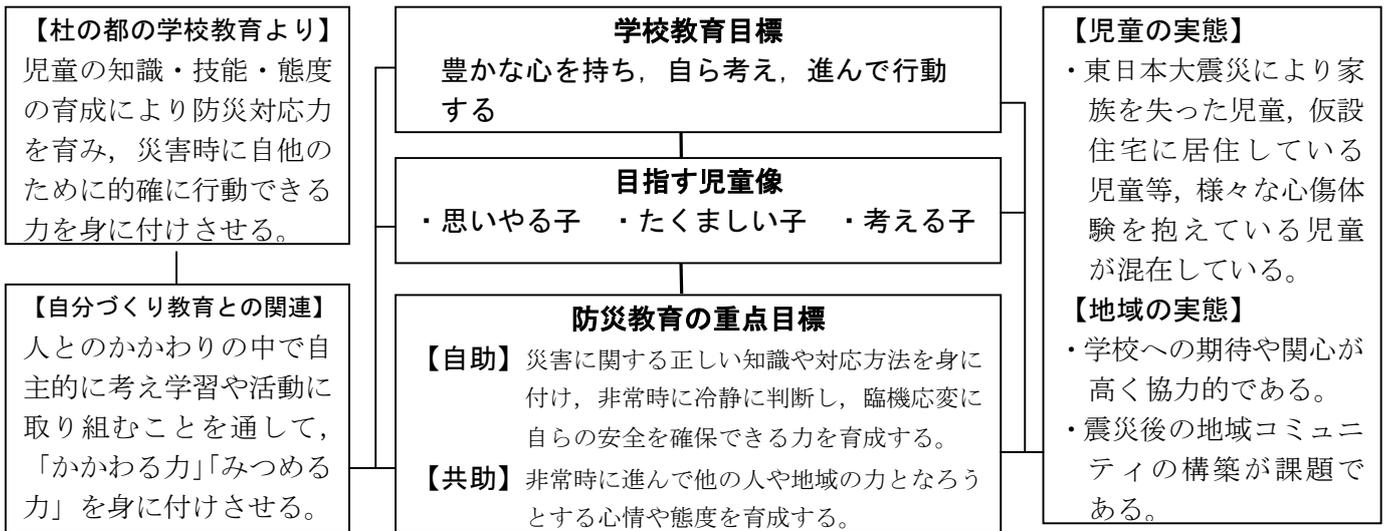


防災教育全体計画

仙台市立荒浜小学校



各学年部の目標		
低学年	中学年	高学年
<p>【知識】 どのような自然災害があるのか、それらから自分の命を守るためにはどうすればいいのかについて知る。</p> <p>【技能】 災害発生時には、周りの状況を判断し自分の命を守るための行動を取ることができる。</p> <p>【態度】 災害発生時には、大人の話聞き、指示に従って行動できる。</p>	<p>【知識】 自然災害の種類について知るとともに、それに備えた学校や地域の防災対策があることを理解する。</p> <p>【技能】 災害発生時には、周りの状況を判断し自分の命を守るための行動を取ることができる。</p> <p>【態度】 災害発生時には、進んで家族の手伝いをしたり、友達と助け合ったりすることができる。</p>	<p>【知識】 過去の自然災害について知るとともに、自然災害発生のメカニズムについて理解することができる。</p> <p>【技能】 災害発生時には、危険を予測し、自分の命を守るために適切な行動を取ることができる。また、初歩的な応急処置ができる。</p> <p>【態度】 災害発生時には、学校では下学年児童の世話をし、地域では家族や友達、地域の方と協力して活動することができる。</p>

教科・領域における指導内容の重点			
各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
<p>・防災や災害に関する周辺の、基礎的な知識の理解、習得を図る。</p>	<p>・自他の生命を大切にしようとする心情や地域の一員として進んで働こうとする態度を養う。</p>	<p>・防災、減災に関する自主的・実践的な技能や態度を育成する。</p>	<p>・安全で安心な地域づくりや防災について、主体的に考え、判断する態度を育成する</p>

【中学校との連携】
互いの防災教育内容や指導方法の理解に努め、児童生徒の成長や発達段階、学びの連続性を生かした防災教育を展開する。

【地域との連携】
地域の人的資源を生かした防災教育を展開する。

【防災副読本の活用】
被災状況、発達段階等を考慮し、教科における防災関連学習事項や防災訓練等の指導と併せて効果的な活用を図る。